

日時：2013年9月20日(金)
19:00～21:00

会場：アステールプラザ 中会議室(4F)※最大50席
(広島市中区加古町4-17 電話：082-244-8000)

資料代：1000円(当日英語通訳付き)

講演会
講演会

福島原発事故
と原発の将来

1

前米原子力規制委員長が語る 原発の将来－福島原発 事故のインパクト

グレゴリー・ヤツコ氏 Gregory B. Jaczko



【演者略歴】

前米原子力規制委員会委員長(2009年5月13日－2012年7月9日)1970年生。ペンシルベニア州ノリスタウンに生まれ、ニューヨーク州オルバニー育ち。コーネル大学で物理と哲学を専攻し、1993年に両分野で学士号を取得。1999年にウィスコンシン大学マディソン校で素粒子物理学(素粒子論)の博士号を取得。下院議員事務所科学フェローとして派遣された。その後、上院の環境

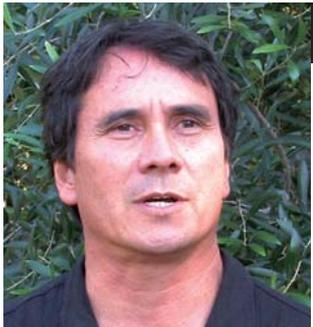
公共事業委員会で原子力問題について発言、ハリー・リード上院議員(Harry Mason Reid。ネバダ州選出・民主党)の科学政策アドバイザーとなった。リード上院議員は使用済み核燃料の最終処分場問題に反対

するなど強硬な反原発派として知られている。2005年1月21日、米原子力規制委員会(NRC)の委員に就任、2009年5月13日、オバマ大統領によって委員長に任命された。オバマ大統領によるヤツコ氏指名は、大統領の原発に対する厳しい姿勢を表すものと受け止められた。(2011年3月18日付『ポリティコ』)福島原発事故発生後、原発の安全性に関し強硬な姿勢で臨んだことが業界の反発を呼び、NRC内で孤立するようになった。(委員は委員長を含め5名)

今回の講演では福島原発事故がNRC委員長ヤツコ氏にいかなるインパクトを与えたか、福島事故を受けてアメリカの原発規制行政はどうあらねばならないと考えるに至ったか、他の委員との対立点はあったどこにあったか、などの諸点は聞き所である。ヤツコ氏はその後辞任の意向を固め、2012年5月21日後任が決定次第NRC委員長を退任するとの声明を発表。5月24日にオバマ大統領によりジョージ・メイソン大学准教授のアリソン・マクファーレン氏(Allison Macfarlane)が後任者に指名され現在に至っている。

2

反原発に動いたアーバンプランナーから見た 南カルフォルニア：サン・オノフレ 原発廃炉の経緯



トーガン・ジョンソン氏 Torgen Johnson

【演者略歴】

2013年6月7日。南カリフォルニア・エジソン社(SCE)は、蒸気発生器に問題を起こしていたサン・オノフレ原発(SONGS)の2・3号機の70%出力操業計画を断念し、2原子炉の廃炉を決定した。

SCEのSONGS廃炉決定の背後に

は地元の反原発活動家の粘り強い闘いがあった。サンディエゴに本拠を置くジョンソン設計事務所代表(Principal at Johnson Design)のトーガン・ジョンソン氏もそうした活動家リーダーの一人。「潜在的なSONGSの原子力事故の破滅的な影響は南カリフォルニアの住宅・不動産環境、産業、農業、社会的インフラに及ぶ。私の家族はもちろん、避難地域(半径50マイル)に住む南カリフォルニアの数百万人の人々の話だ」と述べ、粘り強い討論を重ねることで人々を説得していった。南カリフォルニア大学卒業、ハーバード大学大学院で建築・ランドスケープ建築設計で修士号を取得している。

【主催】結・広島 【後援】プルトニウム・アクション

※商業TV・新聞用の取材はご遠慮ください。

連絡先◆広島市安芸区矢野町752-29 電話：080-3885-9466(原田) メール：yui@hiroshima-net.org